

環境影響評価審査会委員からの指摘事項（平成29年6月19日）及び都市計画決定権者の見解

番号	指 摘 事 項	都 市 計 画 決 定 権 者 の 見 解
1	事業実施区域の北西約1kmの保育園においても環境大気質の調査を行う必要があるのではないかと。	<p>環境大気質の調査は、事業実施区域及びその周囲の大気質の現況を把握するために行うものです。事業実施区域の北西方向には、約1kmに保育園が、約1.5kmに大学があり、そのうち今回は、大学で調査を行うこととしました。</p> <p>ただし、予測においてはコンター図を示すことから、保育園への影響も予測することになります。</p>
2	方法書23ページについて、県道405号から北方向に分かれている県道406号は途中に天伯小学校もあり、あまり広くない道路である。県道405号を北上し、県道31号（東三河環状線）を右折すれば、同じ場所に出られる。工事車両は全て県道405号を通った方が良くと思うがどうか。	<p>工事車両は県道405号及び県道406号を走行する予定でしたが、大型の工事車両については、極力県道405号を通行することに変更します。また、県道406号を通行する場合であっても、周辺環境や学校への通学などに十分に配慮するよう工事関係者に周知・徹底します。</p>
3	既存施設の解体工事に係る建設作業等騒音・建設作業等振動の予測は行わないのか。	<p>建設工事及び解体工事において、それぞれの工事期間中に建設作業等騒音・建設作業等振動が最大となる時期を対象に予測を行います。</p> <p>(愛知県補足回答)</p> <p>準備書においては、環境影響評価の項目の選定（方法書185ページ）について、「建設機械の稼働等／建設作業等騒音・建設作業等振動」に加え、「掘削・盛土等の土工又は既存の工作物等の除去／建設作業等騒音・建設作業等振動」に○を付けることとなります。</p>
4	メタン発酵施設と本施設との間を行き来するトラック輸送や、輸送に伴う臭気を考慮する必要がある。そのため、運搬時の悪臭も予測評価する必要があるのではないかと。	<p>バイオマス利活用センターからの残渣の運搬においては、密閉構造のコンテナ車両にて運搬するため、悪臭の漏洩はないと考えています。</p>

番号	指 摘 事 項	都 市 計 画 決 定 権 者 の 見 解																	
5	豊橋市での苦情の状況（方法書 134 ページ）について、この中に資源化センターに関する苦情はどれぐらいあるか。また、豊橋市の苦情件数がここ数年間で増加している理由はなにか。	資源化センターに関する苦情は、平成 23 年度に悪臭に関する苦情が 1 件ありました。 豊橋市の苦情の件数が増加している理由として、平成 27 年度からごみステーションの監視を強化したことにより、家庭ごみ以外の事業系廃棄物の投棄に関する苦情がそれまでよりも多く計上されたことが一つの要因となっています。																	
6	既存施設敷地内においても土壌環境調査を行う必要があるのではないか。	既存施設敷地内の土壌については、既存資料により調査や予測を行います。 なお、解体工事に際しては、土壌汚染対策法に基づく調査を行い、調査結果を踏まえて解体計画を立案し、解体工事を実施します。																	
7	方法書 235 ページ図 5-2-9 について、調査地点の選定理由を対象種ごとに教示されたい。	<p>調査地点の選定理由は以下のとおりです</p> <table border="1" data-bbox="786 632 2092 1230"> <thead> <tr> <th data-bbox="786 632 920 673">種類</th> <th data-bbox="920 632 1167 673">調査方法</th> <th data-bbox="1167 632 2092 673">調査地点の選定理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="786 673 920 813">哺乳類</td> <td data-bbox="920 673 1167 813">トラップ調査 自動撮影調査</td> <td data-bbox="1167 673 2092 813">調査範囲に生息する小型哺乳類及び夜行性哺乳類を把握するため、調査範囲の主要な環境である耕作地のうち事業実施区域に近い場所を設定しました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 813 920 954" rowspan="2">鳥類</td> <td data-bbox="920 813 1167 903">ポイントセンサス</td> <td data-bbox="1167 813 2092 903">調査範囲を広く見渡せるよう、北側耕作地（畑地及び施設）及び南側耕作地（水田及び河川）の 2 地点を設定しました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="920 903 1167 954">ラインセンサス</td> <td data-bbox="1167 903 2092 954">調査範囲を網羅するように調査ラインを設定しました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 954 920 1094">昆虫類</td> <td data-bbox="920 954 1167 1094">トラップ調査</td> <td data-bbox="1167 954 2092 1094">調査範囲に生息する地上徘徊性昆虫類及び走光性昆虫類を把握するため、調査範囲の主要な環境である耕作地のうち事業実施区域に近い場所を設定しました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 1094 920 1230">植生</td> <td data-bbox="920 1094 1167 1230">コドラート</td> <td data-bbox="1167 1094 2092 1230">調査範囲に成立する主要な植生の群落構造把握のため、航空写真より判読した草地群落、木本群落、耕作地雑草群落、路傍雑草群落の 4 地点を設定しました。</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、調査地点は航空写真等により方法書作成時点で予察した結果を用いて設定しているため、現地調査時に調査地点の環境が変化していた場合には、適切な地点に移動して実施します。</p>	種類	調査方法	調査地点の選定理由	哺乳類	トラップ調査 自動撮影調査	調査範囲に生息する小型哺乳類及び夜行性哺乳類を把握するため、調査範囲の主要な環境である耕作地のうち事業実施区域に近い場所を設定しました。	鳥類	ポイントセンサス	調査範囲を広く見渡せるよう、北側耕作地（畑地及び施設）及び南側耕作地（水田及び河川）の 2 地点を設定しました。	ラインセンサス	調査範囲を網羅するように調査ラインを設定しました。	昆虫類	トラップ調査	調査範囲に生息する地上徘徊性昆虫類及び走光性昆虫類を把握するため、調査範囲の主要な環境である耕作地のうち事業実施区域に近い場所を設定しました。	植生	コドラート	調査範囲に成立する主要な植生の群落構造把握のため、航空写真より判読した草地群落、木本群落、耕作地雑草群落、路傍雑草群落の 4 地点を設定しました。
種類	調査方法	調査地点の選定理由																	
哺乳類	トラップ調査 自動撮影調査	調査範囲に生息する小型哺乳類及び夜行性哺乳類を把握するため、調査範囲の主要な環境である耕作地のうち事業実施区域に近い場所を設定しました。																	
鳥類	ポイントセンサス	調査範囲を広く見渡せるよう、北側耕作地（畑地及び施設）及び南側耕作地（水田及び河川）の 2 地点を設定しました。																	
	ラインセンサス	調査範囲を網羅するように調査ラインを設定しました。																	
昆虫類	トラップ調査	調査範囲に生息する地上徘徊性昆虫類及び走光性昆虫類を把握するため、調査範囲の主要な環境である耕作地のうち事業実施区域に近い場所を設定しました。																	
植生	コドラート	調査範囲に成立する主要な植生の群落構造把握のため、航空写真より判読した草地群落、木本群落、耕作地雑草群落、路傍雑草群落の 4 地点を設定しました。																	

番号	指 摘 事 項	都 市 計 画 決 定 権 者 の 見 解
8	<p>昆虫類の調査について</p> <p>①比留茂川より南側の場所でもトラップ調査地点を追加した方がよい。</p> <p>②任意観察法に加え、ラインセンサスルート方式による調査を行い、それにより採取された昆虫を定量的に整理されたい。</p> <p>③比留茂川では任意観察法だけでなく、コドラート法や網すくいによりもう少し詳しく調査する必要があるのではないか。</p>	<p>①比留茂川の南側にライトトラップ調査地点を追加します。</p> <p>②昆虫類調査について、任意観察法に加え、環境区分ごとの昆虫相を定量的に把握できるトラップ法の調査地点を水田耕作地や樹林等の環境区分に追加し、定量的に整理します。</p> <p>③比留茂川で詳細に調査を行うため、網すくい調査を実施します。コドラート法は河床環境が単調で、限られた面積ではほとんど採集できない可能性があることから、底生動物相を詳細に把握できるよう、任意観察法の調査を一定時間継続実施する定量調査を行います。</p>
9	<p>住宅等との距離や建物の規模を把握し、近傍から視認したときの影響も調査した方が良いと思うがどうか。</p>	<p>近傍から視認したときの影響を把握するため、調査地点を追加します。なお、近傍の調査地点は、多くの利用者が見込まれるトレーニングセンター（事業実施区域から西約30m）、りすば豊橋（事業実施区域から南西約300m）、現在工事中である道の駅（事業実施区域から南西約500m）を検討します。</p>
10	<p>焼却に伴う廃熱を廃棄物発電や給湯・空調等にも利用するとしているが、これらも考慮して、温室効果ガス等を予測するのか。</p>	<p>準備書までに廃棄物発電等の規模が決定すれば、廃棄物発電や給湯・空調等の利用も考慮（温室効果ガスの削減量）して、温室効果ガス等を予測します。</p>
11	<p>方法書9ページ表2-2-1では、処理方式が「全連続式燃焼方式」になっているが、例えば、「RDF方式」も「全連続式燃焼方式」に含まれるのか。</p>	<p>「全連続式燃焼方式」には、「RDF方式」も含まれます。</p>